

夏場の入浴介助 職員の負担軽減を

マスクをつけた状態での入浴介助は、介護職にとって負担が大きく、特に気温が高い時期には、暑さ対策が欠かせません。興和株式会社は涼しい呼吸でひんやり冷たい「フェイスカバー」を発売しました。

特別企画

介護職の身体的な負担を 軽減する「フェイスカバー」

利用者にとって入浴は、身体を清潔にするとともに、リラックス効果などが得られる貴重な機会です。しかし、その一方で介護職にとって入浴介助は、身体的な負担が大きく、体力を消耗します。

特に夏場は、エアコンのない暑い環境で大量に汗をかくため、暑さ対策が必要となります。しかも、最近はコロナ禍でマスクを装着して介助を行っている状況にあり、身体への負担はより大きいといえます。

「フェイスカバー」は、そうした介護職の過酷な状況を軽減させるために、興和株式会社が開発・販売した商品です。装着した部分がひんやりと冷たく、爽快感をもたらす効果があります。

使い方と主な特徴

「フェイスカバー」はその名のとおり、顔に巻き付けるように装着します。使い方は次のとおり、いたって簡単です。

- ① 水道水などで濡らす
- ② 絞る
- ③ 5~10秒振る
- ④ 顔に装着する(耳を通して、後頭部で縛る)

特殊な冷却プリントによって、水分と風で冷却されるため、鼻や口から首まわりまで、広範囲にわたって冷たさを感じることができます。

これは、さまざまな試験で実際に結果が示されています。たとえば、使用開始時と30分後のサーモグラフィーを見ると、フェイスカバーの生地の温度はほぼ変わっていないことがわかります(図)。また、同じ条件で6回、温度測定試験を行ったところ、いずれも生地の温度が安定して低下する様子がみられました(表)。

実際に現場でフェイスカバーを試してみたところ、使用した職員のほとんどが効果を実感しています(下部参照)。「フェイスカバー」は大きな助けとなりそうです。

現場の声

特別養護老人ホーム 癒しの里 青戸
(東京都葛飾区)

「フェイスカバー」の効果を実感

多くの現場と同じように、癒しの里青戸においても、入浴介助では職員に大きな負担がかかっており、夏場のマスクを装着した状態での介助は、過酷な暑さが心配だと、施設長の柳沼亮一さんは言います。

そんななか、数名の職員にフェイスカバーを装着してもらいました。使用した感想として、次のような声が聞かれました。

顔のまわりから首の後ろまでひんやりとして気持ちよかったです。素材も肌触りがとてもよいですね。(伊東来夢さん)

マスクをついていると、顎の下に汗がたまってしまうのですが、フェイスカバーはそれがなくて快適でした。それから、装着しても眼鏡がくもらないのもよかったです。(村田ゆきみさん)

装着することで疲労感がかなり減り、だいぶ楽になりました。利用者さんからも「涼しそうね」と好評です。(亀田由美香さん)

特徴1
つけると
顔全体が冷たく、
ひんやりとして心地よい



販売価格：1枚3,300円(税込) カラー：グレー、ピンク
※1回のお買い物で10個以上ご購入いただくと、20%OFF

特徴2
簡単な手入れで、
繰り返し使用が可能



特徴3
フィット感、肌触りがよく、
長時間装着しても違和感がない

生地に特殊な冷却加工。
吸熱効果と気化熱作用で

水、汗、風を利用し、何度もクールダウン

*飛沫感染を防止することが証明されているものではありません。

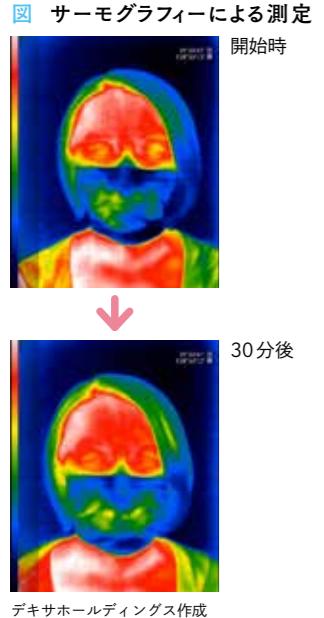
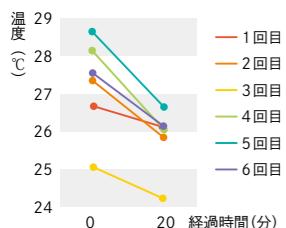


表 温度測定試験の結果



興和株式会社

[本社] 愛知県名古屋市中区錦三丁目6番29号

お電話での注文・お問い合わせ

お電話でのご注文の際は

FCMG001とお伝えください

0120-606-508

(年中無休・年末・年始除く 9:00~21:00)

ハピネスダイレクト(販売サイト)

コーワハピネス

検索

